



病期

がんの病期分類には2つの方法があります。

臨床病期

- 手術前に行われた検査に基づく

病理病期

- 手術および/または生検または組織サンプルの検査の結果に基づく
- 治療計画を立てるために使用される

病期分類は、医師ががんがどの程度広がっているかを理解するのに役立ちます。

以下により決定されます：

- 原発（最初の）腫瘍の範囲
- 近くのリンパ節へのがんの転移
- 遠隔部位へのがんの転移

病期分類は生検に基づいても決定されます。一般的な生検部位には以下のとおりです。

- 近傍リンパ節
- 大網および小網
- 骨盤
- 腹膜
- 腹部
- 腹水（ある場合）
- 横隔膜
- 胸水

卵巣がんには以下の2つの病期分類「システム」があります。

AJCC – 米国癌合同委員会 (American Joint Committee on Cancer) による TNM 分類

- T = 腫瘍 (Tumor)
- N = リンパ節 (Node)
- M = 転移 (Metastasis)

FIGO – 国際婦人科産科連盟 (International Federation of Gynecology and Obstetrics)

病期は悪性度とは異なります。

病期は「どこにあるか」であり、悪性度は「顕微鏡でどのように見えるか」です。

AJCC 分類のウェブサイト：

www.cancer.org/cancer/ovarian-cancer/detection-diagnosis-staging/staging.html

卵巣がんの FIGO 分類に関するウェブサイト：

www.sgo.org/wp-content/uploads/2012/09/FIGO-Ovarian-Cancer-Staging_1.10.14.pdf